

「愛南町公立小中学校再編に関する答申書」に係る保護者説明会 会 議 録

- 1 日 時 令和3年10月26日(火) 18時30分～19時35分
- 2 会 場 船越小学校 2階 広場
- 3 参加者
 - (1) 保護者 6名
 - (2) 教職員 5名
- 4 事務局 中村教育長、岩井学校教育課長、近田課長補佐、西田課長補佐
- 5 会議の概要
 - (1) 開会 進行：西田課長補佐
 - (2) 開会挨拶 教育長 中村 維伯
 - (3) 説明事項
 - ア 「愛南町学校統廃合検討委員会」について
(岩井学校教育課長)
 - イ 「愛南町公立小・中学校再編に関する答申書」の説明について
(近田課長補佐)
 - ウ 意見交換
 - 小さい学校が大きい学校へ統合するということが多いが、統合予定の学校が両方とも小さい学校の場合は、難しいのではないだろうか。
片方が、統合することに賛成せず、平城小との統合を希望した場合、残りの学校はどうなるのか。
(課長) 今の段階では明確な答えは出せない。
検討委員会の中でも、一度に郡内3小学校にしてはどうかという意見もあったが、地域とのつながり等も勘案して、時期尚早、旧町村に1校ずつ配置するという意見でまとまったので、このような問題や課題については、話し合いによって決めていきたい。
 - 船越小と福浦小の間で、「どちらがどちらに統合するのか」という意見が出るのではないか。
(課長) この意見は出てくると思うので、話し合いの場を設け、決めていきたい。

(教育長) 数年前のCSの会で、統合問題について地域の方々に意見を求めると、船越小と福浦小の両方ともCSで「西海に一つは学校を残してほしい」という意見であった。複式学級が解消されなくても、統合する場所はともかく、船越小と福浦小が統合する方向がいいのではないか。

〇〇 保育園もいっしょなので、統合するのでいいのではないか。

(課長) 意見交換しながら、話し合いを進めていきたい。

〇〇 福浦小校区の知り合いと統合の話を持個人的にしたが、やはり、「統合せざるを得ない。した方がいい。」ということだった。お互い、顔見知りの間柄なので、統合の方向でいいと思う。西海に一つは学校があってほしいと思う。

(課長) 統合する場所に関することや落としどころの内容をどのように決めていくのかについては、話し合いを重ねていきたい。

(教育長) 統合する場所については、どちらかになるが、メリット・デメリットを考えながら決めていきたい。

(課長) 内海地区でも、場所については課題として挙がっている。内海地区なら、柏小と家串小の間にある内海中学校の利用も検討できるが、西海地区はどちらかになる…。

付け加えとして、通学手段については、住んでいる場所や学校の場所に応じて保障していく。

学校名についても、検討してほしい。変更してもしなくても構わない。

(教育長) 学校名については、旧町村名を使うのが、落としどころではないかと思う。

〇〇 学校名が変われば、校歌なども変わってしまうのではないかという心配もある。

〇〇 教頭や養教が引き上げになるくらい児童数が減少した場合、特別支援学級の配置はどうなるのか。

(課長) そのときの状況にならないと分からない。なるべく、引き上げにならないようにしたい。

〇〇 体操服などの学用品はどうなるのか。購入し直すのか。

(課長) 購入し直さなければならないものなどについては、町が保障する。

〇〇 船越小に関わらせてもらうようになって6年が経つ。以前は30名ほどの児童がいて、スポーツ少年団活動などがあり、それなりに充実していた。児童数の減少に伴い、子どもの活動が減っているので、もっと充実できるといいと思う。かと言って、平城小のような大きな学校に我が子を通わせるには、不安があるので、西海に一つは学校が残してほしい。

〇〇 旧西海中学校の利用はできないのか。

(教育長) 建物の規格がすべて中学生に合わせている。階段の高さなどすべてを変えないといけなくなる。また、未使用のまま何年も経っているので、老朽化が進んでいるので、お勧めできない。

今後、いろいろなことを検討したり、決めていったりしなければならない。両校のPTA会長様と相談しながら進めていきたいと思う。今夜のようにその都度お集まりいただくことにならないようにしていきたいのだが、いかなものか。

(全員) 了承。

(4) 閉会